

第3回元日野サンプラザ有効活用検討委員会の開催結果

平成28年3月31日

企画政策課

2月29日に第3回元日野サンプラザ有効活用検討委員会を開催したので、報告します。

1 開催趣旨

元日野サンプラザの有効な活用方法について検討し、町への提言等を行う。

2 日 時 平成28年2月29日(月) 10:00～12:00

3 場 所 日野町役場 大会議室

4 出席者

委員12名、アドバイザー1名(1名)、事務局 6 名

5 協議・意見交換 「元日野サンプラザの有効活用について」 中西委員長進行

(1)国、県の許認可・規制、業界の状況等について 事務局が資料により説明

(2)具体的な有効活用方法について 以下意見交換

【主な意見(要旨)】

- ファミリーサポートセンターよりはむしろ遊具などがあり、大人と子どもが一緒に遊べてくつろげる場所が必要。保育所に入る前の子どもとか、保育所が4時に終わってから夕方に買い物のついでに立ち寄って話ができるスペースが室内にあればよい。
- サンプラザの中に葬祭会館があって、同じ建物にテナントを募集した場合に、お客が集まるだろうかと不安に思う人もいる。個別にいろいろとアイディアが出るが、町へ提言する場合に、施設の全体像としてどうかという視点での検討が必要。
- 葬祭会館について競合という話もあったが、(親族等が)都会から帰って来て、自宅でするよりも近くの会場で簡単に葬儀を済ませたいという人も多い。葬儀はどこの葬儀社でも使用できるような形での場所をつくれればよいのではないか。
- 町公舎で葬儀する延長というイメージで、広い建物の後方部分に葬儀ができる場所をつくれれば会葬者も雨に濡れずに済む。最近では、自宅であろうと、お寺であろうと葬儀社に依頼している。
- 葬祭会館は業者を限定せず、必要であれば整備してもよいと思うが、同じ建物に事務所やおひさま広場のようなファミリーサポートセンターを設置した場合に、隣で遺体を置いて通夜をしている状況で、仕事や子ども遊ばせるのにネックになるのではないか。葬祭を行う施設が必要というのであれば、(建物内の同じスペースで)他の施設・機能と併用しないで専用とするか、(元日野サンプラザとは)別の場所に整備した方が有効ではないか。
- 大きな建物であり、一番奥に作れば影響は少ないのではないか。会葬者が雨に濡れずに葬儀ができる場所があれば便利なので、年に20回～30回位の利用になると思うが、それが必要かどうかである。
- 仏教関係者に葬祭会館を整備することについて意見を聞いた結果、「黒坂では葬儀は自宅やお寺が多く、根雨もお寺や会館がある。隣町にも葬祭会館があるので、利用があまり見込めないのではないか。」というような意見であった。あの場所に葬祭会館をつくと町民全体ではなく一部の住民の使用になるの

ではないかと心配している。

- 現地を見た限り、奥行きがあって広い建物なので、4分割や5分割に区切って、各スペースにどういった業種、何を入れるか考えた方がよい。例えば、提案のあった宝くじ売場や商業ゾーンは前方のスペースに配置するなど、ターゲットは町外か町内か、収益性を求めるか公益性を重視するかなど、色分けをして、分割したどこのスペースに配置するか検討すべき。
- （企業誘致は）箱を用意すれば、企業が呼べるという簡単なものではない。企業側としては、その場所で事業を行うメリットが必要である。移住・定住を含めた住みやすい環境や、地元の地域資源の活用、人材確保などをマッチングして、ある程度の見込みがつくような段階で町が動いて整備するというのが一般的である。但し、最初から全てのインフラを整えなくても、町として明確にいつまでにこういうものを整備するということを発信しながら進めるというやり方もある。
- 建物を町が取得して場所が決まらなないと明確な話ではできないが、宝くじ売場やその隣にアーティストを呼んで縁起物づくりができるようなコーナーを何か所か設けると、数名の雇用が見込めるのではないかな。これ加えて観光案内の窓口も設置すれば、さらに雇用が必要となる。いずれにしても、公設民営で運営組織ができて、参加する人が集まって協議しないといけない。
- 委員会として、町の地方創生の戦略や高齢者の住みよい町づくりなどの方針をもとに、サンプラザを活用してこれをやろうという検討をすべき。本当に人がくるかどうか分からないと思うので、サンプラには商業施設はいらないと考える。住民から意見を聞いたり、委員会で検討しているが、予算や人の配置等の制約で町として取り組めない可能性もあるので、委員会としては何も決められないのではないかな。
- （事務局）
 - ・住民からの意見募集やこの委員会で意見をもとに、委員会としての案を整理していきたい。実施段階では、おそらく町としては事業者を公募した上で選定し、レイアウトなども決めていく形になる。懸念されている「何人配置して費用をいくらかける」という点については、行政サイドで判断し対応することになる。
- 現行の県の助成制度を活用するのであれば、こういう業態で立地が見込めるというような、ある程度の見込みがないと難しい。企業誘致以外の助成制度の活用を検討したり、県として相談に乗ることは可能。
- 地方創生の戦略に当てはまる取組を考えるとよりは、町として自立可能な、前向きな取組を考えていけば自ずと戦略に当てはまると考える。
- 委員会の方向性として、例えば、葬祭会館の話が出ているが、「葬祭会館を絶対につくるべき。」という言い方というよりは、「多目的なコミュニティースペースとしてこういう使い方がありますよ。」というまとめ方にならざるを得ないのではないかな。
- 「こういう考え方でこういった施設を整備します」という、住民に対して説明するためのコンセプトをまとめる必要である。
- いろんな意見が出ているが、例えば日野高生が登下校時に休憩したり、住民が買物した後に一休みするスペースなど具体的にこういう形になるというものを（図面）いくつか作って検討した方がよいと考える。
- 根雨の商店街にデメリットになるものはつくるべきでないとの意見があった。「宝くじ売場」が一番良い例であるが、あの場所で交流人口が増えることが大事であり、例えば「パン屋」でもよいが、町外から買物にどんどん人がやってくるようなものが必要ではないかな。町内だけを対象に考えると、人口が少ないというデメリットの影響で何もできなくなるので、その辺りを考えながら検討すべき。
- 当初（事務局のたたき台で）示された改修費や維持管理費など予算については変更することもあるのか。

施設の賃借料収入の期待できる事業者等が少ないのではないかと。将来的に町負担が増えるのではないかと心配。

→(事務局)

・具体的にどう活用をするのか、どこが入るかによって、改修費や運営費など当初の見込みより安くなるかもしれないし、高くなるかもしれない。

○建物の柱の位置を見ながらスペースを区分けしていかざるを得ない。葬祭会館もそんなに大きなものが必要かどうか、ローコストで有効利用するためにどうすべきか、次回にスペースの区分けの案が示されれば、いろいろ意見が出てくるのではないかと。

○建物のスペースが広いのであれば、学芸員を1名配置して、木山義孝の作品など美術工芸品を展示することも考えられる。

○(施設整備後の)維持管理の問題も当然出てくる。民間的なスペース、行政的なスペースをどう配置していくか、それによって維持管理の経費が変わっていくので、その辺りを詰めていかないといけない。行政に全てお任せというわけにはいかないのと、次回、具体的に区分けした図面をもとに議論していく必要がある。

○地方創生の移住・定住の促進となり、最終的に(小学生入学が)20人という目標達成につながるものであるべき。日野病院もあるので、リハビリとトレーニングができる施設を整備すれば、専門的人材の移住の可能性もある。日野高校をはじめ部活動の子ども達も利用できるのと、そうした施設を加えてもらいたい。

○町には特産品もあるし、最近では金持神社でハンバーガーが販売開始となり好評と聞いている。そうした意味で飲食ができるスペースを整備すべきかどうかとも議論すべき。

○移住・定住や観光に力を入れて情報発信すべきとの話もあった。通常、行政では対応できない時間外や土日でも対応可能な新しい情報発信ができるセクションを設けることも選択肢の一つとして考えてもらいたい。

○外からお客さんを呼ぶということでは、年間20万人が訪れる金持神社をはじめ、出雲街道、オシドリ、たたら文化など歴史資源が豊富であるが、根雨駅から跨線橋ができれば、元日野サンプラザの価値が相当高まるのではないかと。

○かつて「ラブランド日野構想」というのがあって、根雨のまちへのアクセスが良くなるとの考えで、根雨駅から地下道を通した方が安くあがるということで検討された経緯があった。

○地下道の整備について、県による支援は難しいと考える。江府一三次道路の整備を検討しているが、もしも現道利用で整備するとなると、元日野サンプラザの周辺は危険なエリアである。仮に宝くじ売場が設けられてバスが入ってくるようになれば、何らかの整備を検討しないといけない。

○(元日野サンプラザ跡と)根雨の街や駅との一体的な整備については、現状では富士見橋を昇り降りできるようにするのが精一杯である。

○次回は具体的な活用方法がイメージできる資料をもとに、委員からもいろいろなアイディアを出してもらって、少しでも前向きな結論となるよう議論を深めたい。あと2〜3回で委員会としての提言を取りまとめたい。